

業況レポート

製造業

- ◇**パン**…今年度は脱会者が続出し、組合運営が下降気味。皆で力を合わせこの状況を乗り越えなければと考えている。国、県の給食に対する考えは、コメ中心で進んでいる。小麦にも力を入れていただき、我々が精いっぱいの仕事ができるよう願っている。
- ◇**酒**…当県課税移出数量は、12月、1月と連続して前年同月を下回る95%台で推移。2月は101.7%と昨年9月以来前年を上回り、特定名称酒も102.7%と増加傾向に戻った。また、年間でも特定名称酒の伸びは103%であり、全国的にも増加傾向にある。焼酎については、12月に98.6%と落ち込んだものの、1月は113.2%、2月は103.8%と前年同月比を上回った。清酒輸出に関しては、依然として順調な伸びを示している。平成27年度の原料米調達については、安定的に推移するものと考えられる。価格については、引き続き安定的な供給体制を構築する観点から、酒造好適米については、需給と価格安定の観点から、複数年契約方式等を順次導入し、原料米価格を抑える努力が必要と考えている。「日本酒で乾杯条例」を施行した自治体は、3月14日に偕楽園でキャンペーンを実施した。当組合の需要開発平成26年度事業として、蔵元情報誌「茨城の地酒と蔵元」を3月31日付で発刊し、主要団体・関連機関等へ広報活動のツールとして送付した。
- ◇**納豆**…最近まで消費はますます順調だったが、ここへきて停滞し始めた感がある。納品価格も下落圧力が強くかかっている。原材料・資材や人件費等の諸経費の上昇分を納品価格に転嫁できないので、大変厳しい状況になってきていると思われる。
- ◇**菓子**…3月は対前月比でみると売上・収益ともに増加しているが、対前年同月比では前年割れ。4月から原材料の値上がりがあり、経営面で厳しくなることが懸念される。
- ◇**繊維製品（袋物）**…3月は年度末の駆け込み受注のため、各社とも仕事量は多め。GW前までは問題ないが、連休明けが心配な様子。
- ◇**木材**…季節的影響や住宅需要の不振による製品全体への需要の低迷が続いている。競合する外材製品も弱基調に入り、影響が国産材にも波及している。プレカット工場も受注が少なく、需要は低調で先行きの実需が不透明なため、製品の仕入れには慎重な姿勢である。
- ◇**プレカット**…まったく冴えない3月だった。通常の50%減。見積もり等は出てきたが、なかなか決まらなかった。4月も3月と同様か。
- ◇**段ボール**…消費税増税の駆け込みがあった影響で、去年より悪い。3月は全体的に売上が悪かった。材

料の値上げがあり、収益が若干悪くなってきている。4月以降が心配。

- ◇**焼物**…昨年の秋以降、産地の景況はやや持ち直している感がある。個々の窯元では仕事量も増えてきており、忙しさが戻ってきているところも出てくるようになった。春の陶炎祭を契機に、多くの方に来ていただけるよう頑張ってみよう。
- ◇**鍍金**…前年は消費税増税の駆け込み需要で忙しかったが、今年は年度末の需要増の企業と、需要がなかった企業で二極化した。業種としては、自動車部品・重電機・電子機器等の部品を扱っている企業は低調で、建築・住宅関連の部品を扱っている企業は好調であった。業界全般としては、消費税増税の影響は昨年秋口には解消したと思われる。金属材料、工業薬品とも価格は大きく変わらない。貴金属関係の材料については価格が高止まりしている。
- ◇**電化機器**…当月生産高は、対前年同月比△154百万円（△16.6%）となる771百万円。自動車関連で前年比△17.7%、家電関連で△13.1%の実績。対前月比では103百万円の増（+15.4%）の生産高であったが、中小企業における景気回復の実感はない。
- ◇**自動車部品**…売上高にはやや明るい兆しも感じるが、未だ水面下である事に変わりはない。
- ◇**工業団地（農機部品）**…組合員の売上状況は、対前年同月比で組合員7社中3社が増加、4社が減少。全体増減率は97%。足元の生産活動では前月より持ち直しつつあるが、前年度の水準までは達していない。主得意先より提示された4月～9月期の増産計画に対応するため、人員の確保を進めているが、目途が立たず、上期の休日を15日分下期へ振り替えて稼働日、残業の増加で対応する予定。

非製造業

- ◇**セメント卸**…袋セメントの出荷袋数は、前年同月比23%の減少。年度末のため、前月比では約10%の増加となっているものの、対前年同月比では、消費税増税による反動減で大幅減となった。
- ◇**水産卸**…精算所取扱高は前年同月比0.84%の増。昨年の3月は消費税増税に伴う駆け込み需要で売り上げを伸ばしたが、当月は量販店関係の取扱高が増えており昨年並の取扱高となった。
- ◇**食品卸売**…3月は単価高で推移し、取扱高はほぼ前年並みの数字となった。年度取扱高としては、やはり消費税増税後、消費の落ち込みが見られ、前年度を割る数字となってしまった。また、年度末に脱退が3件あり、組合員の高齢化や後継者がいないといった問題が出てきている状況。
- ◇**県南地区卸売**…消費税の増税や原油高、更には円安により仕入れ価格が高騰している。その反面、販売

価格への転嫁が鈍く、収益状況が悪化している。

- ◇**県北地区共同店舗**…前年は消費税増税の駆け込み需要で高額商品がよく売れたため、対昨年度で売り上げが大幅ダウン。
- ◇**県央地区共同店舗**…創業祭を実施して集客を図ったものの、財布のヒモが硬く売上には中々繋がらない。今年になってから一段と厳しさが増している。
- ◇**県南地区共同店舗**…イベント等で集客を図るも、買い上げには結びつかない。特に衣料品が苦戦。対前年同月比80%。
- ◇**家電**…4K対応テレビ、2014年6月のワールドカップ等で期待されたが、今一つの消費。累計では、ほぼ前年比100%で終了。厳しい年度となった。店主の高齢化、売り上げ不振による転業等で益々厳しが高まる中、専門電器店として必要不可欠な新しい知識や情報を身につけ、新年度に頑張っでチャレンジしていくことを望む。
- ◇**中古自動車**…3月のオークションは、出品台数が依然減少傾向にありタマ不足である。しかし、成約率が対前年8%増と好調で、収益も+4.5%となった。
- ◇**石油**…原油価格が50ドル~60ドルの間で推移しているため、前年同月比で17円低下した。安値販売競争の激化から、仕入価格の下げ幅以上に販売価格を下げているため、依然として厳しい経営環境が続いており、休業・廃業に追い込まれる組合員が増えている。
- ◇**商店街(水戸)**…水戸の梅まつり、春の歓送迎会、バルバール等、飲食店はどこも大入りだった。
- ◇**ホテル旅館**…臨海エリアにおいては、あんこう鍋料理を目的としたお客様の増加は見られるものの、宿泊に直接つながることは少ない。水戸エリアにおいても、観梅客が増加しているにもかかわらず、宿泊数は減少している。昨年は、消費税増税前の駆け込み旅行が多く、また、本年3月14日からの常磐線の品川駅乗り入れが少なからず影響している。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車輛入庫状況指数で

ある継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車は102.8%、軽自動車は108.8%とともに増。

- ◇**総合建設**…平成26年度工事の工期満了により、追い込み工事が集中し人手不足である。逆に、来月からの平成27年度工事がほとんどない。土木工事は、以前から工事が減少していたが、建築工事も大幅に減少した。各社とも、最低工事量確保のためダンピング受注は避けられない状況である。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客毎の物量は、前年度並みとなるも出荷は減少している。また、燃料価格は前年度より下がるも高止まりしており、収益は依然厳しい状況になっている。
- ◇**県央地区運輸**…平年に比べ、荷物量が少なく「ひま」な日が多く感じられる。後半には、製造業・衣料品が多く動いたが、季節物で、ガーデニング・農産物の出荷は平年通り。4月からの荷動きが心配。運賃の低迷も続き、収益は厳しい。

H27.3月の業界天気図

業種	指数	売 上	収 益 状 況
		前年同月比	前年同月比
食 料 品 製 造 業	▲ 50.0	▲ 50.0	
そ の 他 製 造 業	▲ 20.0	▲ 45.0	
卸 売 業	▲ 25.0	▲ 50.0	
小 売 業 (商店街を含む)	▲ 36.4	▲ 45.5	
サービ 業	0.00	0.0	
建 設 業	▲ 40.0	▲ 20.0	
運 輸 業	▲ 50.0	▲ 50.0	
全 体	▲ 30.0	▲ 42.0	

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.1値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.1値

中小企業者様の財産を様々なリスクから守るために作られた共済組合



茨城県火災共済協同組合

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館8階 029-224-0610